レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）　様式３

ﾚﾋﾞｭｰ項目（事業名）	企業等との連携による児童生徒の体力アップ支援の充実 （「体力アップひょうご」サポート事業）			部（局）	教育委員会事務局
				所管課	体育保健課
				担当班	学校体育班
				連絡先	078-362-3787
開始年度	平成24年度	終了年度	令和７年度	関連計画等	第４期ひょうご教育創造プラン
事業区分	□ 国補助事業　☑ 県単独事業				
実施方法	☑ 直執行　□ 委託　□ 補助　☑ その他(各教育事務所への令達)			実施主体等	兵庫県教育委員会 市町組合教育委員会
事業目的	児童生徒の体力・運動能力の向上のため、体力・運動能力について調査・分析を実施し、専門性に優れた地域の指導者等を積極的に活用することで、児童生徒の運動への興味・関心を高め、運動習慣の定着及び新体力テスト測定値の向上を図る。				
事業概要	(1)体力アップサポート専門家会議の開催 (2)体力アップサポーター派遣事業の実施 専門的な指導力を有する地域のアスリートや関係団体指導者、公立中・高等学校保健体育科教員等を小学校に派遣 (3)体力アップスクール表彰 体力向上の成果があった公立小・中学校（10校程度）を優秀校として表彰 (4)兵庫県児童生徒体力・運動能力調査の実施（４月～７月） 本県の上記調査を実施し、年度ごとに小学生、中学生及び高校生の体力・運動能力を分析 (5)体育実技指導力向上事業の開催 (6)体力アップ実践研究モデル事業				
業務フロー	○体力アップサポーター派遣 市町組合教育委員会への実施希望調査（３月）→　実施決定（４月）→　事業実施 →　事業報告（翌年３月） ○体力テスト実施校 市町組合教育委員会へ調査依頼（４月）→　事業実施　→　事業報告（７月） ○体力アップスクール表彰、専門家会議、指導力向上事業、派遣校の視察・意見聴取は本課で実施 ○体力アップ実践研究モデル事業 実施希望調査（３月）→市町委託契約締結（５月～）→　事業実施　→　事業報告（締結日～２月）				
R5レビュー時の外部委員会意見	・体を動かして楽しかったという体験を持たせるなど、運動に対する内発的な動機づけが重要である。 ・現場の先生との間で、新体力テストの総合評価の目標値などの目標指標と、それを達成するという意識を共有すべきである。 ・教員に対し何をすると生徒の成績があがるか、動画等も活用し研修すべき。 ・生徒に対しても具体的な目標を示すべき。				
改善結果（改善状況 取組過程）	内発的動機付けの促進と目標達成時の充実感を醸成するため、体力ｱｯﾌﾟｽｸｰﾙ表彰制度や、本県課題である柔軟性等に特化したﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを研究・共有してきたが、更なる施策の推進に向け、以下取り組みをR8年度より新たに実施 ○体力アップ実践研究モデル事業をみんなで体力ぐんぐんキッズに変更。 単なる体力向上に繋がる実践研究を小・中学校を対象に展開してきたが、学習内容や活動が比較的基礎的であり、成果より現れやすい小学校を中心に運動が楽しいと思える授業改善を実施 ○「体力アップスクール表彰」を「みんなで体力チャレンジアワード」に変更し、対象校の拡充 学校にて体育・スポーツ活動の積極的かつ特色ある優れた実践を行っている学校を表彰。 表彰校の基準を明確化し、表彰校の応募の充実を図る。 ○体力アップサポーター派遣事業を有識者コーディネーター派遣に変更 これまでは体力ｱｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾀｰ派遣事業として、体育授業等に地域の指導者等を派遣（課題：その場限り、継続性が無い）していたが、大学教授や運動分野の専門家が訪問し、授業見学、ﾋｱﾘﾝｸﾞを通じて、指導方針をｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ（内発的な動機付けや、教員の意識改革にも寄与）				

事業に要するコスト

区分			５年度決算額	６年度決算額	７年度当初予算額	８年度当初予算額
事業費①			4,462 千円	2,386 千円	6,639 千円	6,052 千円
経費内訳		報酬・賃金				
		委託料	286 千円	308 千円	1,600 千円	3,100 千円
		補助金・交付金				
		貸付金				
		その他	4,176 千円	2,078 千円	5,039 千円	2,952 千円
（財源内訳）		(国庫)				
		(特定)		(1,236千円)	(1,306千円)	(1,300千円)
		(起債)				
		(一般財源)	(4,462千円)	(1,150千円)	(5,333千円)	(4,752千円)
予算額② ※精算補正前の予算を記載			4,462 千円	2,386 千円	6,639 千円	6,052 千円
執行率(((①/②)×100)			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
人件費③（a+b+c）			従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員
			825 千円	862 千円	899 千円	0 千円
	職員給与費	a	716 千円	739 千円	790 千円	0 千円
	賞与引当金繰入額	b	59 千円	62 千円	59 千円	0 千円
	退職手当引当金繰入額	c	50 千円	61 千円	50 千円	0 千円
総コスト(①+③)			5,287 千円	3,248 千円	7,538 千円	6,052 千円

レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式３

	指標名	区　分	５年度実績	６年度実績	７年度見込	８年度目標	最終目標【年度】
評価指標	成果指標（アウトカム指標①） 新体カテスト総合評価（A+B）の割合（小学校）	目　標	39.0%	40.0%	41.0%	42.0%	
		実績（見込）	29.6%	29.7%	33.7%	42.0%	【年度】
		（単位当たりコスト）	(17,861 千円)	(10,936 千円)	(22,368 千円)	(14,410 千円)	
		達成率（見込）	75.9%	74.3%	(82.2%)	(100.0%)	
	成果指標（アウトカム指標②） 新体カテスト総合評価（A+B）の割合（中学校）	目　標	48.0%	49.0%	50.0%	51.0%	
		実績（見込）	37.1%	36.9%	40.8%	51.0%	【年度】
		（単位当たりコスト）	(14,251 千円)	(8,802 千円)	(18,475 千円)	(11,867 千円)	
		達成率（見込）	77.3%	75.3%	(81.6%)	(100.0%)	
	成果指標（アウトカム指標③） 新体カテスト総合評価（A+B）の割合（高校）	目　標	59.0%	60.0%	61.0%	62.0%	
		実績（見込）	53.5%	46.8%	50.7%	62.0%	【年度】
		（単位当たりコスト）	(9,882 千円)	(6,940 千円)	(14,868 千円)	(9,761 千円)	
		達成率（見込）	90.7%	78.0%	(83.1%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標①） 体力アップサポーター派遣校数	目　標	70	70	70	0	
		実績（見込）	81	93	(94)	(0)	【年度】
		（単位当たりコスト）	(65 千円)	(35 千円)	(80 千円)	--	
		達成率（見込）	115.7%	132.9%	(134.3%)	--	
	活動指標（アウトプット指標②） みんなで体力チャレンジぐんぐんキッズ シンポジウム参加者数	目　標				30	
		実績（見込）				(30)	【年度】
		（単位当たりコスト）	--	--	--	(202 千円)	
		達成率（見込）	--	--	--	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標③）	目　標					
		実績（見込）					【年度】
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
標	終期設定	有（　　）・（無）					
	改善基準	新体カテスト総合評価（A＋B）の割合が各校種のうち１つでも３年連続で前年度実績を下回った場合に見直しを検討					

自己評価

評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）
○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか　など	専門的な指導力を有する人材を学校へ派遣することで、児童の運動への興味・関心を高めることができた。また、運動習慣の定着及び新体カテスト測定値向上を図るために本事業は有効である。	B：ほぼ満足のいく実施状況
○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか　など	専門家会議の委員の意見を踏まえ、体育授業や新体カテストの測定において課題解決に向けた取組を進める学校に効率的に配置を実施している。	「新体カテスト総合評価（A+B）の割合」が全国の割合と比べて低いものの、令和7年度は昨年度と比較してプラスに生じている。事業の見直しは初年度であり、全県的な体制が構築できつつある。体力アップ派遣サポーターは、民間の指導員や体育教員など外部人材を派遣することで、効率性が高まったが、本事業の専門家会議においても、レビュー意見と同様に内発的動機付けの必要性について提言されていたことから、R8年度より効果が得られるように事業の改善を図った。

課題・今後の方向性

☑ 改善　□ 他事業と統合　□ その他

説明：小学校への派遣サポーターについては、スポーツ団体の指導員や体育教員が担任教師に代わって授業を行う形が中心であった。その結果、授業力の向上や取組の波及といった点において、効果は限定的であった。今後は、児童の内発的動機付けの視点を重視し、授業改善を図るとともに、実践的な取組のアイデアを充実させていく必要がある。さらに、その成果を県内全体へ波及させる方策についても検討・実施していく。

外部委員会意見

・R5年度レビューで指摘された「内発的動機付けの重視」「教員の指導力向上」の方向性を踏まえ、R8年度から有識者コーディネーター派遣や「みんなで体力ぐんぐんキッズ」への事業再編を行ったことは評価できる。また、派遣校数は目標を上回っており、外部人材や大学等との連携も進展している。
・一方で、新体カテスト総合評価（A＋B）の割合は依然として目標値を大きく下回っており、特に中学校・高校では改善が十分確認できない。事業量（アウトプット）は増加しているものの、成果（アウトカム）との因果関係が明確ではない。また、事業の主眼が「内発的動機付け」や「授業改善」に移行しているにもかかわらず、それらを測定する評価指標が十分設定されていない。今後は派遣校の成果検証や教員の授業改善効果、児童生徒の運動意識・運動習慣の変容等を把握できる指標を導入し、事業効果の可視化を図る必要がある。
・神戸にはラグビー、サッカー男女ともに2025－2026のチャンピオンチームがいる。 もちろん現状の施策展開は評価した前提でもっとわかりやすくスポーツをはじめてみたいというきっかけになるような地元チャンピオンチームとの交流なども検討してみてはどうか。
・スポーツをしてみたいと思う前に地元チャンピオンチームのファンの数を増やし、チームとの交流のような施策も考えて見てはどうか。